



枝垂れ柳

寒河江市立寒河江小学校

令和 7年 1月20日

学校教育目標【ともに学び ともに輝き ともに高まる子ども】

卒業式まで、残り47日間がスタート！

令和7年（2025年）の寒河江小学校は、1月8日（水）から始まりました。

本校は1年間を前期・後期に分けた2学期制をとっているために、始業式はありません。

しかし、各学年や学級では、冬休み18日間、久しぶりの学校だったので、様々な工夫をして子どもたちを迎えました。

例えば、一人一人の冬休みの楽しかった思い出を紹介し合ったり、子どもたちからの年賀状をみんなで見合ったり、お正月ならではのカルタとり遊びをしたりするなど、子どもたちのたくさんの笑顔が見られ、笑い声が響くスタートとなりました。

また、6年生は卒業まで残り47日間となりました。学年集会では学年主任から、6年生の子どもたちがなりたい姿は「かっこいい6年生」「まねしたいと思われる6年生」「お手本になる6年生」「優しい6年生」であることを確認した後に、そのために「ふだんの生活を見直していこう！」ということで、「あいさつ、授業、せいそう」にこれからも力を入れていくことを話し合っていました。6年生91名の一人一人が、「寒小で自分は成長できた！」「仲間と一緒にこの寒小を創ってきた！」など自己肯定感や自己有用感を高め、「中学校（将来は）では〇〇したい！」と希望や夢を持って卒業・進学できるように教職員全員で支えていきたいと思えます。

このように子どもたちが「自分で考え、判断し、行動できる子ども」をめざすことができるように「自立・自律を支える学校」（=子ども主体で子どもが育つ学校）として、これからも子ども一人一人の声をていねいに聴くことや「決めるのは子ども！」ということで「だいじょうぶ？」「先生にできることはある？」という言葉かけも大事にしていきたいと思えます。

また、9日（木）・10日（金）には、書き初め大会を行いました。1・2年生は各教室で、3年生以上は体育館での書き初めでした。どの学年の子どもたちも冬休みに一所懸命に練習してきた成果を出そうと、真剣に、最後まであきらめずによりよい表現になることを目指、チャレンジしている姿が印象に残りました。

